



平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場会社名 株式会社 NFKホールディングス
 コード番号 6494 URL <http://www.nfk-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 城寶 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田中 耕
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月10日

上場取引所 JQ

TEL 045-575-8000

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	1,827	△36.8	149	—	160	—	114	—
20年3月期第2四半期	2,891	△47.5	△117	—	△418	—	△1,839	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第2四半期	3.85		3.75	
20年3月期第2四半期	△62.04		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第2四半期	4,126		2,548		61.8	85.94		
20年3月期	4,380		2,440		55.7	82.30		

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 2,548百万円 20年3月期 2,440百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
21年3月期	0.00	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	0.00	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,120	△40.5	159	—	170	—	124	—	4.18

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	29,653,342株	20年3月期	29,653,342株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	187株	20年3月期	187株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	29,653,155株	20年3月期第2四半期	29,653,165株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安の世界的な広がりを受け、世界同時株安や急激な円高など、先行きの不透明感はますます色濃いものとなっており、景気の減速感が明確になる展開となりました。

このような状況下、当社グループは燃焼装置関連事業に集中し、当社の高度な技術を活かした工業用回転炉・燃料転換用装置及び燃焼系工業炉・リジェネレイティブバーナなどの拡販に努めた結果、売上高・受注残ともに堅調に推移いたしました。また、仕入れコストの見直しや原価管理の厳格化、無駄を排除し効率性アップに努めるなどの収益改善について全社的な取組みを行い、一定の成果を挙げております。

この結果、当第2四半期の経営成績は、売上高がグループ事業再編によって連結子会社数が減少したことを主因として前年同期比36.8%減の1,827,832千円となったものの、営業利益は149,378千円（前年同期比は117,784千円の営業損失）、経常利益は160,950千円（前年同期比は418,846千円の経常損失）、四半期純利益は114,230千円（前年同期比は1,839,789千円の間接純損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産合計は前連結会計年度末と比較して253,524千円減少し、4,126,509千円となりました。これは、投資有価証券の減少280,422千円、受取手形及び売掛金の増加248,388千円などによるものです。また、負債総額につきましては財務基盤の一層の強化を目指して、積極的な有利子負債の圧縮を行った結果、前連結会計年度末に比べ361,482千円減少の1,577,980千円となっており、純資産につきましては四半期純利益の計上等の結果、前連結会計年度末に比べ107,957千円増加の2,548,529千円となっております。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の55.7%から61.8%に上昇いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

下期における我が国経済は、世界同時株安や円高などの状況から、極めて厳しい局面を迎えており、予断を許さない状況となってきております。そのため、当社グループを取り巻く事業環境も厳しい状況で推移していくものと予想されます。

当社につきましては、当第2四半期において当初の計画を上回る業績にて推移しており、下期についての受注残等も堅調に推移しておりますが、不透明な社会環境が予想されることから、売上高については据置き、営業利益、経常利益、当期純利益については、当初の通期連結業績予想を上回る予想としております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

(通期連結業績予想)

平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	4,120	64	66	36
今回修正 (B)	4,120	159	170	124
増減額 (B-A)	0	95	104	88
増減率	—	148.40%	157.60%	244.40%

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	634,372	966,112
受取手形及び売掛金	1,559,270	1,310,882
原材料	134,213	112,635
仕掛品	463,084	380,549
その他	84,710	54,603
貸倒引当金	△5,328	△5,012
流動資産合計	2,870,323	2,819,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	127,701	128,871
機械装置及び運搬具(純額)	10,538	12,197
土地	737,027	737,027
その他(純額)	21,379	25,574
有形固定資産合計	896,647	903,672
無形固定資産		
のれん	17,740	19,104
その他	21,653	27,320
無形固定資産合計	39,394	46,425
投資その他の資産		
投資有価証券	216,643	497,065
長期貸付金	1,042,000	144,000
関係会社長期貸付金	—	900,000
その他	171,685	184,539
貸倒引当金	△1,110,183	△1,115,439
投資その他の資産合計	320,145	610,166
固定資産合計	1,256,186	1,560,263
資産合計	4,126,509	4,380,034

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	271,704	474,522
未払金	216,336	—
賞与引当金	72,428	69,160
未払法人税等	49,843	117,745
その他	277,222	585,017
流動負債合計	887,534	1,246,446
固定負債		
長期借入金	64,593	60,999
退職給付引当金	344,256	354,624
再評価に係る繰延税金負債	261,105	261,105
その他	20,490	16,287
固定負債合計	690,445	693,016
負債合計	1,577,980	1,939,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,091,252	7,090,309
資本剰余金	—	942
利益剰余金	81,840	△5,032,389
自己株式	△191	△191
株主資本合計	2,172,901	2,058,671
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,384	△111
土地再評価差額金	382,011	382,011
評価・換算差額等合計	375,627	381,900
純資産合計	2,548,529	2,440,571

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	1,827,832
売上原価	1,229,533
売上総利益	598,299
販売費及び一般管理費	448,920
営業利益	149,378
営業外収益	
受取利息及び配当金	1,406
仕入割引	4,729
持分法による投資利益	4,072
雑収入	4,012
その他	202
営業外収益合計	14,423
営業外費用	
支払利息	1,955
雑損失	741
その他	153
営業外費用合計	2,851
経常利益	160,950
特別利益	
投資有価証券売却益	29,353
貸倒引当金戻入額	6,061
その他	15,324
特別利益合計	50,739
特別損失	
保険解約損	31,644
その他	1,096
特別損失合計	32,740
税金等調整前四半期純利益	178,949
法人税、住民税及び事業税	55,744
法人税等調整額	8,974
法人税等合計	64,718
四半期純利益	114,230

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、当第2四半期連結会計年度においては、149,378千円の営業利益及び114,230千円の四半期純利益を計上しておりますが、営業活動によるキャッシュフローはマイナスであり、前連結会計年度まで当期純損失を継続して計上してございましたため、当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

連結財務諸表提出会社である当社は、工業炉燃焼装置関連事業への注力に取り組み営業収益力の向上に努めました結果、連結有利子負債残高合計は64,593千円と前連結会計年度末の395,807千円から331,214千円減少しました。

今後も引続き、黒字体質への転換を確実にするため収益改善策を実行し、財務の健全性に配慮しながら業務提携などを通じ積極的な経営を目指します。

四半期連結財務諸表は継続企業の前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	工業炉燃焼装置 製造事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	1,825,835	1,997	1,827,832	—	1,827,832
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替品	—	223,040	223,040	(223,040)	—
計	1,825,835	225,038	2,050,873	(223,040)	1,827,832
営業利益	334,711	215,074	549,786	(400,407)	149,378

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品

①工業炉燃焼装置製造事業・・・各種バーナ及び燃焼装置・各種燃焼装置並びに
各種工業窯炉の製造・販売

②その他の事業・・・・・・・・・・投資事業等

b. 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する支店又は連結子会社がないため該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	A地域	B地域	その他の地域	計
I. 海外売上高(千円)	178,387	173,526	71,368	423,283
II. 連結売上高(千円)	—	—	—	1,827,832
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.8	9.5	3.9	23.2

(注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2. 本国以外の区分に属する主な国又は地域

① A地域 : 韓国、中国及び台湾

② B地域 : 東南アジア

③ その他の地域 : 中東、欧米、南米

3. 海外売上は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当社は、平成20年8月1日付で資本金及び資本準備金の取り崩しを行い、それぞれ「その他資本剰余金」に振り替えました。そして、振り替え後の「その他資本剰余金」にて繰越利益剰余金を欠損補填にあてました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本金が4,999,057千円、資本準備金が942千円減少し当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,091,252千円、資本準備金が0千円となっております。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	2,891,086	100
II 売上原価	2,344,320	81.1
売上総利益	546,765	18.9
III 販売費及び一般管理費	664,549	23
営業利益又は営業損失(△)	△117,784	△4.1
IV 営業外収益		
1 受取利息	1,324	
2 受取配当金	814	
3 仕入割引	2,211	
4 その他	3,686	
	8,037	0.3
V 営業外費用		
1 支払利息	116,880	
2 株式交付費用	—	
3 持分法による投資損失	106,893	
4 財務支払手数料	64,811	
5 その他	20,513	
経常損失	309,099	10.7
	418,846	△14.5
VI 特別利益		
1 固定資産売却益	195	
2 投資有価証券売却益	—	
3 償却債権取立益	989	
	1,184	0
VII 特別損失		
1 投資有価証券評価損	170,692	
2 貸倒引当金繰入額	1,192,536	
3 投資組合運用損	—	
4 減損損失	168,926	
5 その他	118,595	
	1,650,751	57.1
税金等調整前中間(当期)純損失	2,068,412	△71.5
法人税、住民税及び事業税	15,938	
法人税等調整額	△4,269	11,668
		0.4
少数株主損失	240,291	8.3
中間(当期)純損失	1,839,789	△63.6